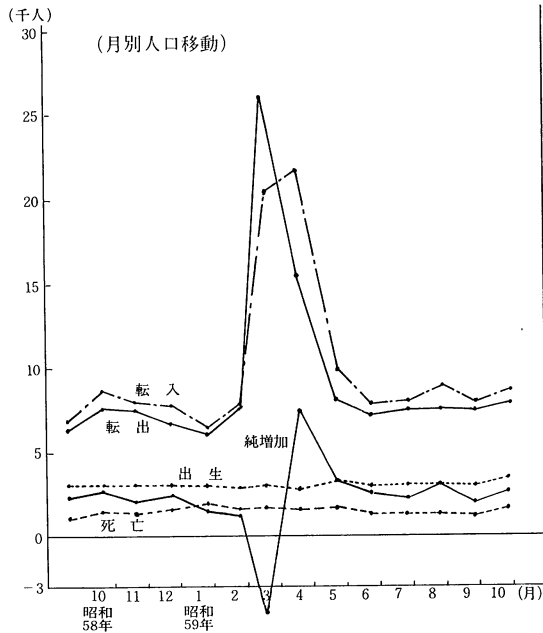


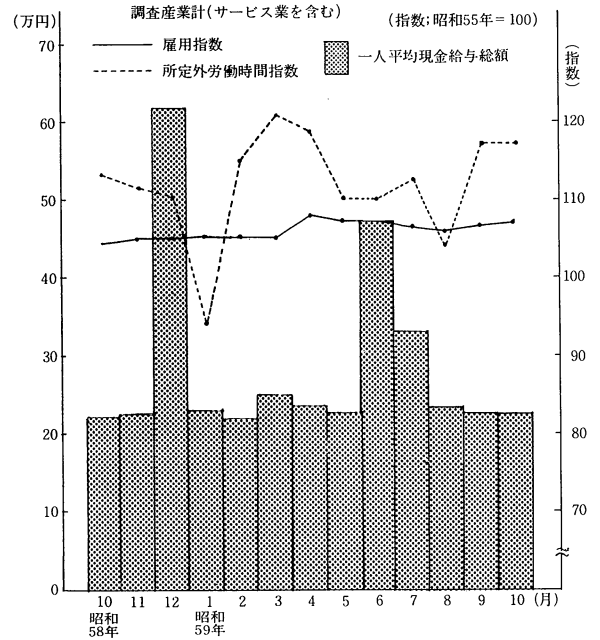
● 今月の主な動き

今月の主な動き

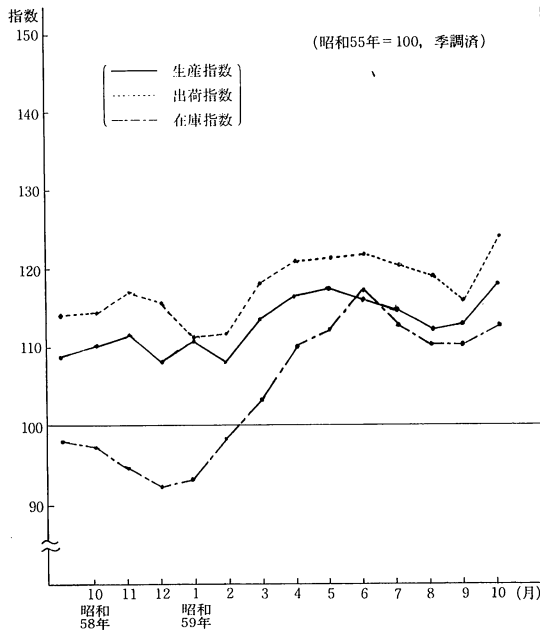
人 口



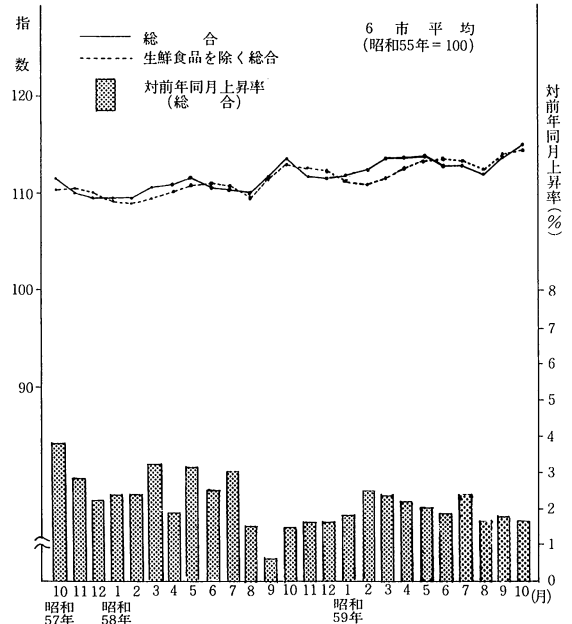
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (11月 1日)

本県の人口は、10月中に2,629人増加し、11月1日現在で2,693,325人になった。昨年11月1日現在と比較すると25,547人(0.96%)の増加であり、10月の増加数が前年を若干ではあるが上回った。

内訳は、自然動態で1,744人(出生3,181人、死亡1,437

人)、社会動態で885人(転入8,691人、転出7,806人)の増加である。

市町村別では増加14市53町村、減少4市19町村、増減なし2町である。

世帯数は891世帯増加して749,843世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (10月)

1. 平均賃金の推移

10月の常用労働者1人1ヶ月平均現金給与総額は224,879円で前月に比べ0.7%増(前年同月比4.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,414円で前月に比べ0.2%増(前年同月比4.2%増)であり、特別に支払われた給与は3,465円で前年同月に比べ1,110円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は180.7時間で、前月に比べ0.1%増(前年同月比1.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.5時間で、前月に比べ0.2%減(前年同月比1.3%増)であり、所定外労働時間数は18.2時間で、前月と保ち合い(前年同月比4.0%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.6で、前月に比べ0.1ポイント増、前年同月に比べ1.6ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (10月)

昭和59年10月の本県の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が118.4、出荷が123.7、在庫が112.5で、前月比は、生産が5.0%、出荷が6.9%、在庫が2.3%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.8%、出荷が7.6%、在庫が15.9%の上昇であった。

生産を業種別にみると、鉄鋼、石油・石炭製品、一般機械等が上昇し、鉱業、精密機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、一般機械、非鉄金属、鉱業等が

上昇し、精密機械、金属製品等が低下した。

在庫を業種別にみると、石油・石炭製品、精密機械、電気機械等が上昇し、鉱業、木材・木製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、資本財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (10月)

昭和59年10月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.0(昭和55年=100)となり、前月比(+0.9%)、対前年同月比(+1.6%)の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物(+23.7%、保健医療サービス(+7.3%、衣料(+7.3%

今月下がった主な項目……魚介類(-3.7%、野菜・海草(-7.3%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総合	115.0	0.9	1.6	保健医療	113.5	4.4	6.7
食料	115.7	0.5	1.1	交通通信	109.2	0.0	1.9
住居	113.8	0.3	1.3	教育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	109.2	0.0	0.3	教養娯楽	114.9	0.6	1.7
家具・家事用品	107.0	0.4	1.7	諸雑費	113.1	0.0	0.7
被服及び履物	120.4	4.2	0.9	生鮮食品を除く総合	114.8	0.7	2.1